

意欲的に取り組み 心豊かで心身ともにたくましい豊の子ども

豊小だより

H27年
2月号
1月26日
発行

大寒も過ぎ冬本番となり毎日寒い日が続いています。豊小学校の中庭にある観察池も連日の寒さで凍ってしまい、魚たちは氷の下でじっと寒さに耐えているようです。そんな寒い毎日乗り越えるためには豊小の校訓の一つである「強い体」の育成が必要ですが、豊っ子たちは休み時間になると運動場に出て元気いっぱいに遊んでいます。また豊小では年間を見通した体力づくりも実践しています。12月から2月にかけて業間時間を使って、冬季の体力づくりに取り組んでいます。12月からまずペースランニングを行いました。決められた時間に自分のペースで走りきるという運動です。1月からは、県教育委員会が企画運営している「みんなでチャレンジランキング」の中の、「長縄の連続8の字とび④」に挑戦しています。16人以上をグループとして、一人ずつ跳んで3分間に何回跳べるかを競います。途中で何回引っかかってもよく、回数は続けて数えます。各クラスではチーム名を決めて力を合わせて練習に励んでいます。

学級とチーム名	最初の記録 1/13
1 A スペシャル1 A	7 3
1 B がんばれ1 B	5 7
2 A ファイト!! 2 A	8 3
2 B レッツ GO!GO! 2 B	9 7
3 A ハッピーフレンド3 A	1 2 3
3 B チャレンジ3 B	9 2
4 A チャレンジプラス4	2 5 7
4 A チャレンジプラスA	2 0 6
5 A チャレンジ∞5 A	3 2 6
6 A 24カラー	2 1 3
6 B ミラクルフィーバー24	2 2 3



<運動場いっぱいひろがって！>

左の表は、最初の日の記録です。毎年のことながら、全部で何回跳べたのかという数や最初の日に跳べた数からどれだけ伸びたのか、など目指すところは様々です。得意な子ばかりではありませんが、苦手なことも克服して取り組むこと自体に価値があります。4～6年生は1秒間に長縄を2回近くとぶほどのすごいスピードですが、みんなで作戦をたててがんばっています。低学年は途中で引っかかってしまう友だちもいますが、励まし合ってがんばっています。体力づくりとともに協力することで得られるすばらしさも体験してほしいと思っています。寒さに負けない「強い体」を目指して、今日も251人みんなで頑張っています。



今日の予定



日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日		16	月	児童朝会 下校 14:45 バス 15:05
2	月	児童朝会 代表委員会・委員会	17	火	読み聞かせの会（1年）
3	火		18	水	新1年生体験入学・体験給食
4	水	集金・ベルマーク	19	木	学校保健委員会
5	木	6年校外学習（市民会館）	20	金	
6	金	新1年生入学説明会・販売	21	土	西大寺会陽・少年はだかまつり
7	土		22	日	
8	日		23	月	クラブ活動
9	月	クラブ（3年クラブ見学）	24	火	
10	火	読み聞かせの会（2年）ファミリーデー	25	水	参観・懇談 PTA 持ち寄り資源回収 児童下校 14:45 バス 15:05 ペタンク
11	水	建国記念の日			
12	木	保護者教育相談 3年「昔の話を聞く会」	26	木	学区巡回 音楽の部屋
13	金	PTA 評議員会	27	金	
14	土		28	土	
15	日				

<3月の主な行事等>

3日（火）6年生を送る会	19日（木）卒業式
23日（月）給食最終日	25日（水）修了式

緊急下校訓練



1月17日のフリー参観日には、多くの保護者のみなさまにご参観いただきありがとうございました。特に、3校時には緊急下校訓練で児童引渡し訓練も重ねて実施することができました。本校では、初めての取組でしたので、保護者の方にもご協力をいただきありがとうございました。児童は、何度も学校で訓練していますので、落ち着いて放送を聞き、指示に従って行動できていたように思います。二次避難場所への移動もスムーズにできていたようです。

保護者のみなさまは、初めてのことで少し戸惑われた方もいらっしゃるのではないかと思います。学校側でお願いした「引き渡しカード」への記入や児童引取りのための体育館から一方通行での動きなど落ち着いて行っていたいただいたことを感謝しています。大きな混乱もなく、児童と共に、下校していただくことができました。とはいえ、実際に職場やご家庭におられる時に緊急事態が起こった場合、学校に来ていただくまでの交通の問題や引き渡し方の徹底などまだまだ課題があるように感じました。また学校からの緊急下校引き渡しについてのメール配信も開封確認をしていただいた方は約3分の2ぐらいでした。今回は、メール配信が十分生かされなかったように思いました。実際に緊急事態が起これば、いろいろな意味でのパニックも予想されますので、今後も、家庭や地域を交えた避難訓練を検討していかなければいけないと思いました。まずは、試みるのが大事と考えての取組でした。学校でもさらに課題を明確にして実施できるようにしたいと思います。